

第6学年2組 道徳科学習指導案

第6学年2組(児童数 31名)

授業者 大野 智成

1 主題名 その人のために (内容項目:B「親切、思いやり」)

2 ねらいと教材

(1)ねらい 相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

(2)教材名 「最後のおくり物」(出典:「6 きみが いちばん ひかるとき」 光村図書)

3 主題設定の理由

(1)ねらいとする道徳的価値について

自分のことばかり考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。互いが相手に対して思いやりの心をもって接することが不可欠である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分に置き変えて推し量り、よかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見いだそうとする姿勢が求められる。学校生活においては、様々な人と多様な関わり合う中で、相手の思いを汲み取り、それに対して行動できる思いやりの温かさに気付かせたい。また、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てていきたい。

(2)児童の実態について

人に親切にしようとすることや思いやりの気持ちをもって接しようとする心情を育てるために、道徳科以外では次のような指導を行った。

①たてわり班活動「ハッピーみなみ」

たてわり班活動では、下級生が楽しめる遊びを考えたり、下級生にどのような声掛けをしたら、うまくまとめることができるかを考えたりすることを通して、相手の立場を考えて、思いやりの気持ちをもって親切に接することができるようになってきている。

②総合的な学習の時間「特別支援学校との交流」

特別支援学校との交流を通して、障がいのある人への理解を深め、どのように関わっていくとよいかを学習をしている。学習を通して、相手を尊重する姿が多く見られるようになってきている。

③日常の指導

日々の生活の中で、人に親切にすることや思いやりの気持ちをもって接することの大切さについては多くの児童が理解できている。しかし、思いやりに欠けた言葉を使ってしまう場面も見られる。誰に対しても同じように関わるができるように声を掛けている。

本教材を通して、相手の思いを汲み取り、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てていきたい。

(3)教材について

ロベータの夢は、有名は劇団員になることだが、お金はなく、窓越しに練習をのぞくだけだった。そんな中、手紙と共にお金が届けられ、養成所に通えるようになる。しばらくしてお金が届かなくなり、ロベータは、そのことを恨みに思う。そんなある日、これまでお金を届けてくれたのが、ジョルジュじいさんであったことを知る。ロベータは病気のジョルジュじいさんを看病し、ジョルジュじいさんは最後までロベータを気遣いながら息を引き取る。二人の関係を通して、深い思いやりの心をもつことの大切さについて考えられるようにする。

4 学習指導過程

	学習活動 ○主な発問・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>1 親かな行為とはどのようなものを話し合う。</p> <p>○親切にしたことはありますか？</p> <p>○親切にしようと思ったけど、できなかったことはありますか？ それは、どんなときですか？</p>	<p>□事前のアンケート結果を提示し、本時で扱う内容項目への意識付けを行う。</p>
	<p>親かな行動は、どのような思いから生まれるのでしょうか。</p>	
展開	<p>2 「最後のおくり物」を読んで、話し合う。</p> <p>① ジョルジュじいさんは、どんな気持ちで、お金を送り続けていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロベージュに気を遣わずに、助けてあげたい。 ・頑張っている姿をみて、自分の夢を重ねて応援してあげたいと思う気持ち。 <p>② ロベージュは、どんな気持ちで、看病を続けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息子のように夢を応援してくれたジョルジュじいさんに感謝の気持ちを伝えたい。 ・ずっと支えてくれていた、ジョルジュじいさんに恩返しをしたい。 <p>③ 二人の親かな行動は、どのような思いから生まれているのでしょうか。</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて、自分にできることはないかを探してあげたい。 <p><ジョルジュじいさん></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見返りはいらぬから、相手のために何かしたい。 ・相手の幸せが、自分の幸せにつながっている。 <p><ロベージュ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんに感謝の気持ちを伝えたい。恩返ししたい。 	<p>□電子黒板に教材の挿絵を提示しながら教師が読み聞かせすることで、教材に浸らせる。</p> <p>□二人の気持ちに注目しながら、聞くように促す。</p> <p>□ジョルジュじいさんに自我関与し、気持ちを考えることができるようにする。</p> <p>□ロベージュに自我関与し、気持ちを考えることができるようにする。</p> <p>□机間指導をして、意図的指名に役立つ。</p> <p>□ペア→グループ→全体交流の順番で共有する。</p>
	<p>3 自己を見つめ、自分の生き方について考える。</p> <p>○親切にされたことがありますか？それはどんなことで、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調がよくないときに、友達が優しく声をかけてくれた。普段は喧嘩もするけど、思いやりの気持ちをもって接していきたい。 	<p>□机間指導の際に、問い返しをして考えを深めることができるようにする。</p> <p>☆親切について、自分の生活を振り返って考えている。(発言・ワークシート)</p>
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>□足のケガをした時の体験を話す。</p> <p>様々な人が親切にしてくれたことで、たくさんの勇気を与えてくれた。</p>